

リンゴ炭疽病に

パスポート

TPN水和剤

顆粒水和剤

パスポートは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

すべてのリンゴを守りたい。



炭疽病

モニリヤ病
希釈倍数の拡大
1000～1500倍



パスポート顆粒水和剤はこれらの病気からリンゴを守ります。



炭疽病



モニリヤ病



黒星病



黒点病



斑点落葉病



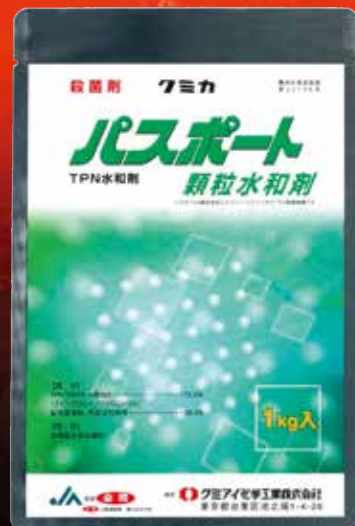
すす点病・すす斑病



褐斑病



輪紋病





リンゴ炭疽病
防除に!

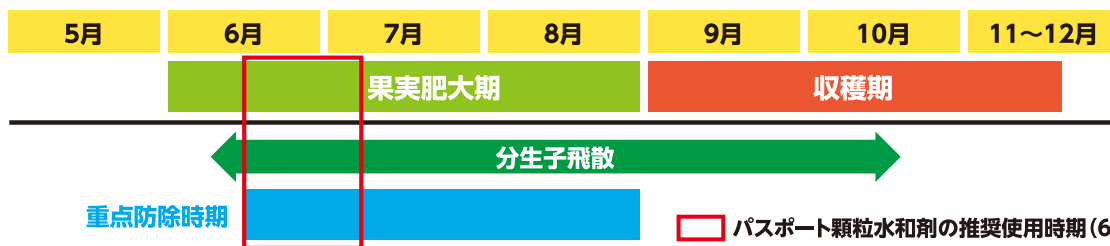
パスポート 顆粒水和剤

農林水産省登録 第22158号

パスポートは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

有効成分:TPN (テトラクロロイソフタロニトリル)・・・72.0% 包装:1kg×10袋、500g×20袋 有効期限:5年

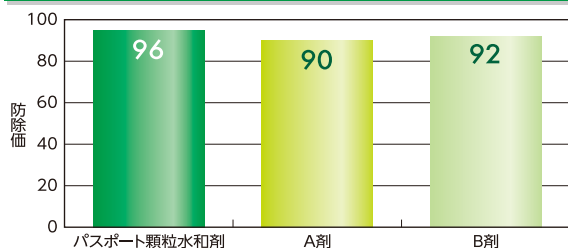
炭疽病の発生時期



パスポート顆粒水和剤の推奨使用時期(6月中旬～7月上旬)

- パスポート顆粒水和剤の注意事項
- 開花直前から落花後20日までの間は使用をさける
 - 収穫前日数に注意する(収穫45日前まで)

リンゴ炭疽病に対する効果



青森県産業技術センターりんご研究所
品 種: つがる 発病程度: 多発生(接種) 実施期間: 2014年7～8月
方 法: 樹木に約2週間間隔(7月4、18日、8月3、18日)で薬剤を散布した。※ 1回目の散布後に、炭疽病菌を培養したリンゴ休眠枝5本を棒ネットに入れ、樹冠上方に張ったワイヤーに吊り下げた。8月下旬に全果実を収穫・調査し、防除値を求めた。

炭疽病に高い効果を発揮

※: 本試験は厳密な効果確認のため、いずれの剤も4回散布しています。使用に際してはラベルをご確認ください。
(パスポート顆粒水和剤の使用回数は3回以内です。)

パスポート顆粒水和剤の特長

- 1 胞子発芽と胞子形成をダブルブロック
- 2 葉を覆って病気の感染を阻止
- 3 耐性菌の発生事例無し
- 4 天敵・有用生物に影響が少ない*
- 5 りんごの主要病害を抑える



* 蚕には影響があるため注意事項をご確認ください。

適用病害と使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
りんご	炭疽病 褐斑病 輪紋病 斑点落葉病 すす点病 すす斑病 黒点病	1000倍	200～700ℓ /10a	収穫 45日前まで	3回以内	散布	3回以内
	黒星病 モニリア病	1000～1500倍					

2021年11月末日現在

効果・薬害等の注意(抜粋)

- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- りんごに使用する場合、サビ果が多くなるおそれがあるので、開花直前から落花後20日までの間は使用をさけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とし、うがいをする。衣服を交換してください。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触はさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 魚毒性等: 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管: 直射日光をさけ、食品と区別し、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

この印刷物の記載内容は2021年11月末日現在のものです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場に放置せず適切に処理してください。

2051(21-11)

2021年11月作成(東宣)